



タマイ フミエ
玉井 史絵

Fumie TAMAI

講演

コメンテーター

所属・職名

グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科 教授

研究分野

19世紀イギリス文化・文学

研究活動

19世紀イギリスの文化・文学、特にチャールズ・ディケンズ、エリザベス・ギaskell、ジョージ・ギッシングといった小説家を中心に、文学と帝国主義との関係や、文学と教育、ジャーナリズムとの関係について研究しています。またこれとは別に、文学を外国語教育の中でどのように活用できるかについても理論、実践の両面から研究しています。文学とは「非実用的」学問と思われがちですが、文学研究からは現代社会を考えるうえで必要な多くの知見を得ることができます。そうした知見を日々の教育のなかで還元できるよう努めています。

主要な業績 (著作・論文・研究 発表)

(共著)Mitsuharu Matsuoka ed. *Evil and Its Variations in the Works of Elizabeth Gaskell* (大阪教育図書2015年)

(共著)Eiich Hara, et. al ed. *Dickens in Japan: Bicentenary Essays* (大阪教育図書2013年)

(共著)松岡光治編著『ギッシングを通して見る後期ヴィクトリア朝の文化と社会』(溪水社2007年)

(共訳)ルーシー・ワースリー著『暮らしのイギリス史——王侯から庶民まで』(NTT出版2013年)

社会活動・その他

特記すべき事項なし

所属学会

日本英文学会、日本ヴィクトリア朝文化研究学会、ディケンズ・フェロウシップ日本支部、大学英語教育学会

キーワード

19世紀イギリス文学、19世紀イギリス文化、チャールズ・ディケンズ、エリザベス・ギaskell、ジョージ・ギッシング、19世紀イギリス帝国主義と文学、19世紀イギリスにおける教育と文学、19世紀イギリスにおけるジャーナリズムと文学、文学研究を目的とした英語教育

https://kenkyudb.doshisha.ac.jp/rd/html/japanese/researchersHtml/100009/100009_Researcher.html